

熊谷市立健康スポーツセンターにおける営業再開時のガイドライン

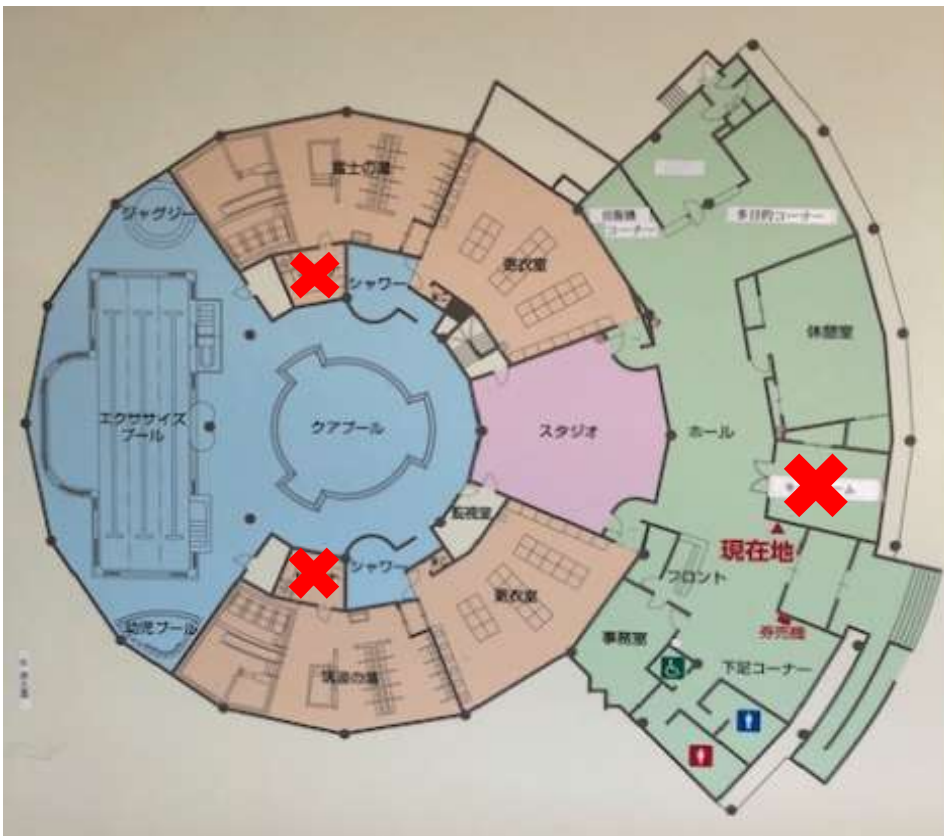
【スタッフについて】

- ・ 入り口でアルコール消毒してから入館
- ・ 入館後は基本マスクを着用し、こまめに手洗いやアルコール消毒を行う
- ・ 出勤時、健康管理シートを記入してからタイムカードを打刻する（体温が37.5℃以上や体調が悪いときには館長に報告のうえ即出勤停止とし、その後の出勤については館長と相談して決める）
- ・ 業務に支障が出ない程度に対人距離の確保に努める（理想は2m四方）
- ・ 対面での会話はなるべく避ける
- ・ 利用者と接する際は必ずフェイスシールドとマスクを着用する
- ・ 新型コロナウイルスに感染した、もしくは感染の疑いがある、身内や身近な接触者が感染し濃厚接触していた等が起きた場合は直ちに館長へ報告する

【利用者について】

- ・ 入館前に施設利用時の注意事項を理解してもらったうえで入館してもらうため、理解が得られない、または体調が思わしくない場合は施設利用を控えていただく
※事前にホームページに掲載し、入り口付近に同様のものを掲示しておく

【利用可能エリア】



《利用可能エリア》

《利用禁止エリア》

下足コーナー

キッズルーム

フロント（エントランス） サウナ

休憩室（和室）

多目的コーナー

自販機コーナー

更衣室

浴室（水風呂とサウナを除く）

プールエリア

スタジオ（トレーニングルーム）

営業時間は10:00～21:00(最終受付20:00)

※入場規制は必要に応じて行う（利用者100人ほどが目安）

【エリア別の対策】

～ 受付・フロント ～

- ・パーテーションを設置して飛沫感染を防ぐ
- ・接触感染を防ぐため、お金や券のやり取りはトレイにて行う
- ・利用者が触れる可能性のあるところはこまめに消毒する
- ・空調設備の稼働と窓や自動ドアの開放によって換気を徹底する
- ・正面玄関の階段は使用せず、スロープにて入館してもらう（混雑に備えて並ぶ際に目印となるテープを足元に貼り、密にならないように促す）
- ・当面は風除室にて入館受付を行う（手順は以下の通り）

《入館受付の手順》

- ①入り口に設置してある消毒液で手を消毒してもらう
- ②風除室にて体温測定を行う ※非接触で即時測れるもの
 - 37.5℃未満→チェックシートを記入してもらい入館時間を記録
(チェックシートは施設側にて保管)
(券をお持ちでない方は券売機にて券を購入→下足ロッカーに履物を入れる→フロントへ券を提出しご利用いただく)
 - 37.5℃以上→入館はご遠慮いただく（感染症法によると37.5℃から発熱とのこと）
- ③退館時に受付にお名前を申告していただき、退館時間をチェックシートに記録する

～ トイレ（エントランス・更衣室） ～

- ・換気設備を常に稼働させ換気を徹底する
- ・ハンドソープを置き、常に利用者が消毒できるようにしておく
- ・清掃と消毒はこまめに行う（不特定多数が触れる箇所は特に行う）
- ・ハンドドライヤーは当面使用中止にして、代わりに使い捨てのペーパータオルを置く
- ・トイレは蓋を閉めて流すように促す案内POPを掲示する

～ ホール（休憩スペース）・和室 ～

- ・机と椅子の数を減らし、密にならないようにする
- ・密にならないように促すPOPを掲示
- ・リモコンは受付で管理し、必要に応じて操作を行う

～ キッズルーム ～

- ・部屋の対象者が子供であり、おもちゃ等への接触回数も多いため感染リスクを考慮し、当面の間使用を中止

～ 自販機コーナー ～

- ・多目的コーナーの窓を開け、換気を徹底する
- ・自販機のボタンや商品取り出し口などの消毒をこまめに行う

～ 更衣室・浴室 ～

- ・ロッカーやキーバンド、トイレ、洗面台など不特定多数が接触するものが多いため、こまめに清掃や消毒を行う
- ・使用できるロッカーを間引き、密を防ぐ
- ・ロッカーにマグネットシートを張りつけ、表に【消毒済】裏に【未消毒】と記入し、お客様が使用したら【未消毒】にしてもらい、スタッフが消毒を【消毒済】にして、消毒されているかどうかを明確に示す（わかりやすく案内POPを作成し掲示する）
- ・洗面台の備品はドライヤーとティッシュペーパー、化粧品サンプル、ハンドソープ、ペーパータオルを設置する（綿棒は感染拡大予防のため撤去）
- ・扇風機と空調設備の稼働や窓の開閉により、室温に注意しながら換気を徹底する
- ・長イスは両端2名で座るよう真ん中部分は使用中止にする
- ・脱水機は当面使用禁止
- ・寝湯の利用箇所を間引く（4→2箇所 両隣りは誰もいないようにする）
- ・サウナは出入口以外の換気口が無く飛沫感染の恐れがあるため当面利用停止
- ・水風呂は8月4日(火)より再開。利用人数2名とし、間隔を空けて入浴していただく
- ・利用人数は20名前後

～ プール ～

- ・マスクが着用できないため、会話は控えてもらう
- ・クアプールの寝台を間引き、利用可能な台数を減らす（4→2台）
- ・ジャグジーは定員2名にし、密にならないようにする
- ・休憩時間は利用者全員がプールサイドに上がってもらう
（クアプールとジャグジーの入水も禁止）
- ・利用人数は30名前後

～トレーニングルーム～

- ・トレーニングルーム内でもマスク着用を原則とする
- ・初回講習会は平日のみ受付、土日祝の新規の利用者はお断りする
- ・受付に消毒液を置き、利用許可証を提出の際に必ず消毒してもらう
- ・有酸素マシンは使用可能なマシンを間引く（使用不可なマシンは電源オフ）
- ・空調設備やサーキュレーターにて換気を徹底する
- ・利用者が常に消毒液を使えるよう要所に設置しておき、マシン使用後は消毒するよう協力を求めるPOPを掲示する（各マシンにあるタオルは毎日交換する）
- ・利用人数は15名前後

【教室事業について】

- ・指導者、利用者の方にはマスク着用を原則とする
- ・空調設備や扇風機等にて換気を徹底する
- ・利用者が常に消毒液を使えるよう要所に設置しておき、使用した場所、道具類は消毒するよう協力を求めるPOPを掲示する
 - (火) 10:15～11:15 ヨガ教室
 - (火) 11:15～12:15 ストレッチ&体幹トレーニング
 - (土) 10:15～11:15 骨盤体操教室

【水泳教室について】

- ・教室に参加する際は教室が始まる5～10分前に来館をする
- ・受講中、マスク着用ができない為、他の参加者と間隔を空け会話を控える
- ・キッズスイミング参加のお子様は、更衣室の混雑を防ぐため
自宅で水着に着替えご来館するようご協力いただく
- ・キッズスクールの観覧は、密集を避けるため、一定期間禁止とする
- ・スクール会員証は受付で提示する
- ・指導者は大声での指導を行わない。また受講者との距離を置く
水泳専用のマウスガードの着用する
受講者が密集しないよう随時列の確認をする
近すぎたりするときは指導し間隔を取らせるよう感染対策を徹底する